



令和6年6月30日

第336号

〔発行〕(公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部  
支部長 いすゞ自動車株式会社 藤沢工場  
編集 藤沢支部 広報部 会  
<http://www.roaneikyo.or.jp/shibu/fujisawa/index.htm>

# 令和6年度 「全国安全週間」を迎えて



藤沢労働基準監督署  
署長 下川 眞 徳

神奈川労務安全衛生協会藤沢支部の会員事業場の皆様には、日頃から私ども労働基準行政の推進につきまして格別なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ、今年で97回目を迎えます。

令和5年の藤沢労働基準監督署管内における休業4日以上労働災害発生件数は681件と前年と比較すると20件(2.9%)の減少となっております。

労働災害を少しでも減らし、労働者一人一人が安全に働くことができる職場環境を築くためには、令和5年3月に策定された第14次労働災害防止計画に基づく施策を着実に推進する必要があると、計画年次2年目となる令和6年度においても、労使一丸となった取組が求められます。

特に、近年増加傾向にある転倒、腰痛や墜落等の労働災害への対応は喫緊の課題であり、第14次労働災害防止計画の重点事項である高年齢労働者の労働災害防止対策の推進や、労働者の作業行動に起因する労働災害防止対策の推進を着実に進める必要があります。

具体的には、

◎高年齢労働者の労働災害の防止のため「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(エイジフレンドリーガイドライン)」に基づく取組

◎令和5年5月19日付け基安発0519第4号「転倒災害防止対策の推進について」や平成25年6月18日付け基発0618第1号「職場における腰痛予防対策の推進について」による転倒災害防止対策及び腰痛予防対策の実施

等の推進をお願いします。

以上を踏まえ、更なる労働災害の減少を図る観点から、令和6年度の全国安全週間は、

**危険に気付くあなたの目**

**そして摘み取る危険の芽**

**みんなで築く職場の安全**

をスローガンに、6月1日から6月30日までを準備期間、7月1日から7月7日までを本週間として全国的に実施されます。

会員事業場の皆様には、全国安全週間実施要綱に定める実施事項を展開することにより、この安全週間を契機に、自主的な安全管理活動が定着し、職場の安全管理水準が一層高まることを念願しております。

2024・2025年度(公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部スローガン

ゼロ災害 繋げるバトン 広げる輪  
未来へ遺そう安全文化

<スローガン入選作品：いすゞ自動車(株) 藤沢工場 山崎 裕太氏>

# 第97回全国安全週間湘南地区推進大会

## 6月12日(水)於:藤沢市民会館小ホール

令和6年度は、「危険に気付くあなたの目 として摘み取る危険の芽 みんなで築く職場の安全」のスローガンの下、「第97回 全国安全週間湘南地区推進大会」が6月12日(水)藤沢市民会館小ホールで開催され、128社167名の方々が参加しました。

日本労働安全衛生コンサルタント会神奈川支部 赤松副支部長による挨拶で開会し、藤沢労働基準監督署 下川署長による来賓挨拶、鎌倉市 市民防犯部 永野部長による来賓祝辞に続き、藤沢労働基準監督署 伊地知安全衛生課長による全国安全週間の実施要綱や藤沢管内での災害発生状況等についての説明がありました。

特別講演では、「転倒災害 発生メカニズムと予防～物の面の対策、人の面の対策～」をテー

マに、中央労働災害防止協会 関東安全衛生サービスセンター 芳賀安全管理士から、年齢によって転倒時のケガの部位が変化し、高齢になるほど被害の程度も大きくなること、そして高齢化が進む現在においては、人的原因と物的原因の両方を対策する必要があるということ、改善の事例等を交えながら説明されていました。

最後に、陸上貨物運送事業労働災害防止協会神奈川支部湘南分会 大竹会長による閉会挨拶で大会は盛大のうちに幕を下ろしました。

今回は、転倒による休業4日以上割合および発生件数が増加傾向にあることに対し歯止めをかけるべく、労働災害防止活動を改めて推進していくことを再確認できた大会となりました。

三菱電機(株) 鎌倉製作所 榎田 勉



### 労働者数50人未満の事業場を支援

健康診断の事後措置、長時間労働者の面接指導など、無料で利用可能！

## 「湘南地域産業保健センター」

住所：藤沢市藤沢976-2 秀明ビル402号

TEL：0466-27-6238 FAX：0466-27-6238 Email：sanpo-sh@atlas.plala.or.jp

### 主な産業保健サービス「全て無料」

- 健康診断結果からの医師の意見聴取
- 労働者の健康管理(メンタルヘルスを含む)に係る相談
- ストレスチェックに係る高ストレス者及び長時間労働者に対する面接指導
- 個別訪問による産業保健指導

※利用には事前の申込みが必要です。また利用回数には制限があります。

# 熱中症が発生！ その時どうする？



## WBGT値を活用しよう

WBGT値は「暑さ指数」ともい、熱中症のリスクが判断できます。気温だけでなく、湿度や太陽から反射した熱(輻射熱)も考慮した値\*です。

WBGT値のリスク区分(例)

注意	警戒	嚴重警戒	危険
25°C未満	25~28°C	29~31°C	31°C以上

WBGT値の状況と予測は、環境省熱中症予防情報サイトに掲載されています。作業開始前にチェックしましょう!

## 熱中症予防 **+**

- ①日頃からウォーキングなど軽い運動を行い、身体を暑さに慣らしておこう!
- ②作業中は、小まめに水分・塩分を摂ったり冷たいもので手足を冷やしたりしよう!



環境省 熱中症予防情報サイト

検索



熱中症についての情報はこちら

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000116133.html>



企画・作成: みずほ情報総研株式会社(厚生労働省委託事業「安全管理支援事業 / 安全衛生教育教材の作成」受託者)、株式会社サイドランチ(作成協力)

## 安・健・快 雑感

我が家は野球一家です。

長男が小学4年生より少年野球を始め、その姿を見ていた次男も小学校入学を機に野球少年となりました。

昨年、長男が中学生となり、それまではなかなか参加できなかった次男が在籍する低学年チームへの練習の機会も増えたところ、恐れ多いことですがチームより低学年チームのコーチにとお声がけを頂きました。

コーチ就任直後は、子どもたちに野球を教える

以前に、あいさつや準備などの基本を教えることに精いっぱい。やんちゃな部員たちに振り回され、体の疲れよりも精神的疲労に参ったものでしたが、今では自ら進んで挨拶をし、少しずつではあるもののプレーでも野球少年らしくなってきた彼らの成長に一喜一憂する日々です。

さすがに年も年。練習中は必死に取り繕っていますが、週明けには体がバキバキです。

しかし、私に野球の楽しさを改めて教えてくれる子どもたちのためにも日々の体力作りに勤しみ、そして頑張っている次男が卒団するまでは、野球一家生活をやり切りたいと思っています。

株式会社佐賀鉄工所 藤沢工場  
土井 祐二

### 〔当面の支部行事予定 7-9月〕

第2回	フルハーネス型墜落制止用器具特別教育	7月2日(火)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
第1回	KYT(危険予知訓練)研修	7月9日(火)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
第2回	リスクアセスメント研修	7月18日(木)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
第4回	職長教育	7月25日(木)～7月26日(金)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
第1回	有機溶剤業務従事者に対する特別な労働衛生教育	7月31日(水)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
第1回	職長能力向上教育	8月27日(火)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
第2回	粉じん作業特別教育	8月30日(金)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
-	衛生管理者試験準備講習	9月4日(水)～9月5日(木)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
第3回	フルハーネス型墜落制止用器具特別教育	9月19日(木)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
-	労務管理セミナー	9月24日(火)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
第5回	職長教育	9月26日(木)～9月27日(金)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室

### 〔編集後記〕

先日、2歳にならない子と一緒に遊ぶ機会があったのですが、その遊び方の自由さにはとても驚かされました。おもちゃの車はバックで壁をひたすら走り、シールブックの電車のシールは湖の絵の中に逆さまに貼られ転覆状態。絵本は内容無視で見たいページのみを開き、ぬり絵の人物の顔色はまさかの紫色。最初こそ大人の常識に倣った在り方を教えてみようと思いましたが、もちろん聞いてくれるはずはありませんでした。そんな自由な遊び方を見ているうちに、大人の常識という枠の中で遊ばせようとするのは無限の創造性や新たな発見のチャンスを制限してしまうのではない

かという気持ちすらしてきました。

安全のルールや対策は、先輩たちが積み上げてこられた知識や経験、私たちの日々の活動をもとにアップデートされていきます。安全を守るためには個人が自由に振る舞い、枠を逸脱するわけにはいきません。ただ、新しくルールや対策を考へるときには、子どものように頭を柔らかくし広い視野で自由に発想を膨らませることで、新たに気がつくことが出来るリスクや解決方法があるかもしれない、とまだまだ安全意識ゼロで全力で遊ぶ小さな子どもに気づかせてもらった1日でした。

ウエスタンデジタルテクノロジーズ合同会社 日高 春奈